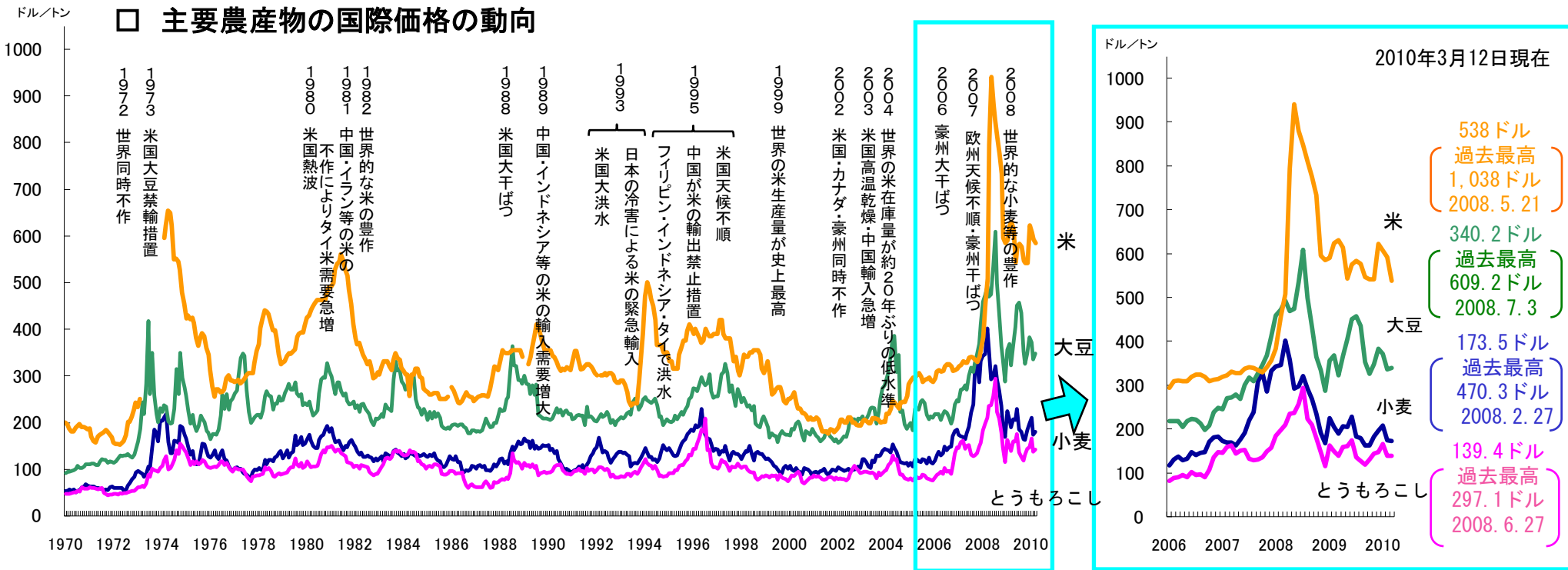


世界の農産物価格の動向 (ドル/トン)

- 穀物等の国際価格は、2006年秋頃から上昇基調で推移し、2008年春から夏にかけて最高値を更新。その背景には、基本的には、① 中国等の途上国の経済発展による食料需要の増大、② バイオ燃料による需要増大、③ 地球規模の気候変動の影響といった構造的な要因のほか、輸出国の輸出規制があった。特に米は、貿易量の割合が低いことから、価格変動幅が特に大きかった。2008年夏以降は、小麦等の豊作予測などに加え、世界金融危機による投機資金の流出、世界的な不況による穀物需要の減退懸念から最高値に比べ大幅に低下した。
- 2008年末以降、南米での干ばつ、米国の天候による作付けの遅れ、中国の旺盛な大豆の輸入需要等により、穀物価格は、再び上昇基調で推移したが、2009年6月以降の米国の良好な天候、10月以降の米国中西部での低温・雨がちな天候等により値が上下した。2010年1月以降、南米の豊作予測や、需給緩和予測等により値を下げたものの、2006年秋頃に比べ1.2~1.7倍の水準。



注：小麦、とうもろこし、大豆は、各月ともシカゴ商品取引所の第1金曜日の期近価格である。

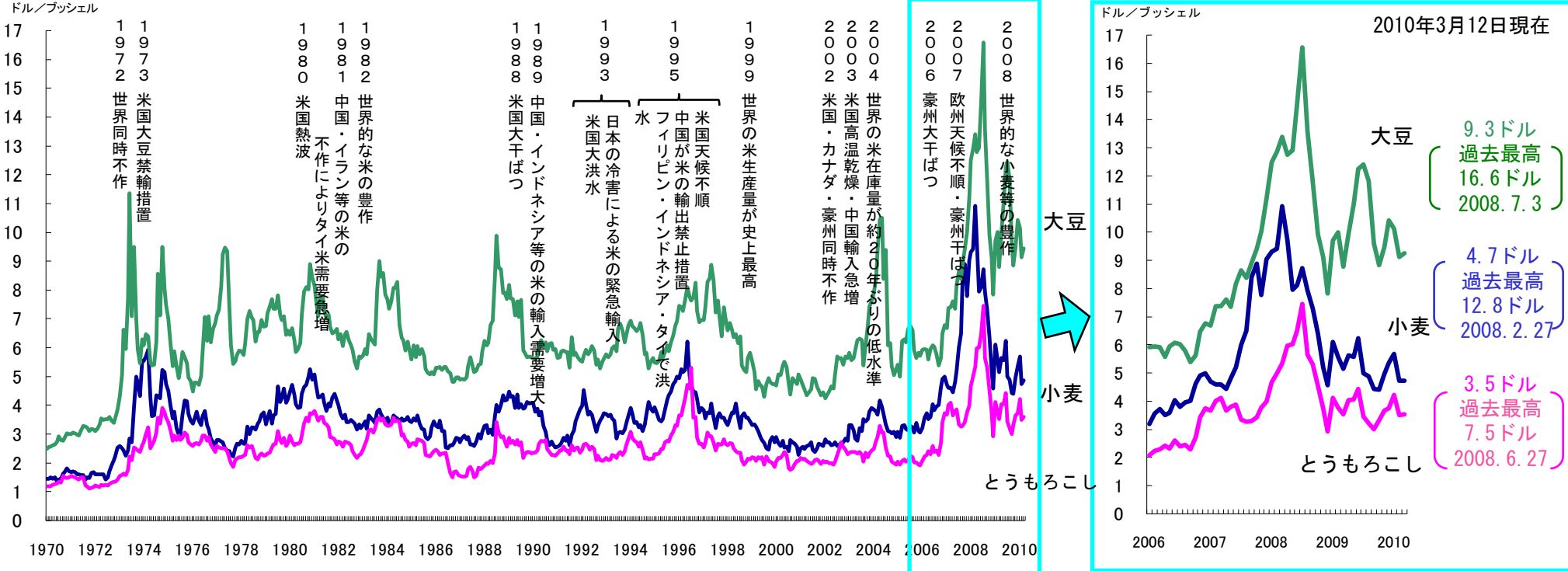
米は、タイ国貿易取引委員会公表による各月第1水曜日のタイうるち精米100%2等のFOB価格である。

注1：各月第1金曜日(米は第1水曜日)に加え、直近の最終金曜日(米は最終水曜日の価格)を記載。
注2：米以外の過去最高価格については、シカゴ商品取引所の全ての取引日における最高価格

世界の農産物価格の動向（ドル/ブッシェル）

- 穀物等の国際価格は、2006年秋頃から上昇基調で推移し、2008年春から夏にかけて最高値を更新。その背景には、基本的には、① 中国等の途上国の経済発展による食料需要の増大、② バイオ燃料による需要増大、③ 地球規模の気候変動の影響といった構造的な要因のほか、輸出国の輸出規制があった。特に米は、貿易量の割合が低いことから、価格変動幅が特に大きかった。2008年夏以降は、小麦等の豊作予測などに加え、世界金融危機による投機資金の流出、世界的な不況による穀物需要の減退懸念から最高値に比べ大幅に低下した。
- 2008年末以降、南米での干ばつ、米国の天候による作付けの遅れ、中国の旺盛な大豆の輸入需要等により、穀物価格は、再び上昇基調で推移したが、2009年6月以降の米国の良好な天候、10月以降の米国中西部での低温・雨がちな天候等により値が上下した。2010年1月以降、南米の豊作予測や、需給緩和予測等により値を下げたものの、2006年秋頃に比べ1.2~1.7倍の水準。

□ 主要農産物の国際価格の動向



注：シカゴ商品取引所の各月第1金曜日の期近価格(セツルメント)

注1：各月第1金曜日に加え、直近の最終週末を記載。
注2：過去最高価格については、シカゴ商品取引所の全ての取引日における最高価格